

この会社に出会えたから今がある
転職が、転機だった。

presented by Pac.EX

株

株式会社USEE(埼玉県入間市)が運営する「ゴープラ」は、高稼働の店として知られている。次のとおり埼玉県内5店舗のうち4店舗が、稼働率で県内ベスト10にランクインする(2016年2月、メディアアシステム社データ)。

1位 入間店(関東1位)
3位 新所沢店(関東10位)
5位 飯能店(関東13位)
9位 川越店(関東30位)

USEEは、自社を「アミューズメント業界のLCC」と位置付けている。アメリカのサウスウエスト航空のように、無駄や過剰なサービスを排し、良質な遊技サービスを手軽な価格で提供するビジネスモデルを構築している。

全店舗が低貸し専門店。遊技客が真に求めるサービスを追求し、従業員の生産性の高さを徹底したローコスト経営を実践している。店舗支持者である客数を増やすことに尽力する、業界の改革者だ。

栗林敏紀さん(39歳)は2013年7月に中途入社した。新卒で入社したホール企業では店長として活躍していたが、新しい業態づくりに挑戦してみたいと思い退職。このとき37歳だったが、USEEは新しいことにチャレンジするのに年齢は関係ないという考えの会社だ。USEEを受けたのは、登録していたバック・エックスからの強い推薦からだ。

面接の場で朝川康誠社長は、栗林さんに真剣に業界を変えたいと語った。全店

県内ナンバーワン高稼働店舗群を率いる

舗低貸し専門店という、ありえないような挑戦をし続けているのはそのためだ。「合理的な経営方針の説明に納得できましたし、何よりそれを実現するための志に共感して入社を決意しました」

栗林さんは「ゴープラ入間店」で一般社員としてスタートした。当初は給与面で配慮がなされたが、その後の実力が認められるにつれて、短期間で昇格していった。

「同店は全国稼働ランキングでトップ10入りするほどの繁盛店(船井総研調

異動から約4カ月、入社してから約半年後の13年12月には、同店の店長に昇任。14年はそのまま店長として勤め、15年3月に現職に就いた。

現在は各店舗の営業設備面や生産性を高めるオペレーションを管掌すると同時に、教育の責任者でもある。組織作りと育成に心を砕くのは、その成功が出店計画を左右するからだ。

「私の努力いかんで、当社の成長速度が速くも遅くもなる。上長にアドバイスを求めながら果敢にチャレンジして成功させたい」



株式会社USEE
営業部 副部長 栗林敏紀さん

べ)。思うように身体が動かないこともありましたが、入社1カ月半で次のステップに進むチャンスをつかみました。営業本部長に直談判して、『ゴープラ荻窪店』への配属を希望しました」

荻窪店は、グループとしてノウハウのない都内駅前店。実験店とはいえ、業績を蔑ろにしてよいわけではない。自分が行って、結果を出したいと考えていた。翌週には希望した同店に、副店長として異動した。

つノウハウは普段の日常会話でもブレンドされていき、距離感の近い社長や上司への相談で形になっていく。

「当社で成功するために必須の要件は、過去の経験だけに頼らず、会社が求める自己育成ができるかどうか。自分自身に対してはイノベーションを起こせるかどうか。失敗を恐れる先輩社員は一人もいません。USEEは私が描いていた理想の会社そのもの。素晴らしい会社を紹介してくれて、非常に感謝しています」

勝ち組
転職

転職支援サイト パチンコキャリア **転職** <https://www.e-pachinko.org>

株式会社 パック・エックス 東京都港区東新橋2-4-1 Mail: career@e-pachinko.org TEL: 0120-279-106

